

機械器具 61 歯科用ハンドピース
管理医療機器 特定保守管理医療機器 ストレート・ギアードアングルハンドピース JMDN:70692000

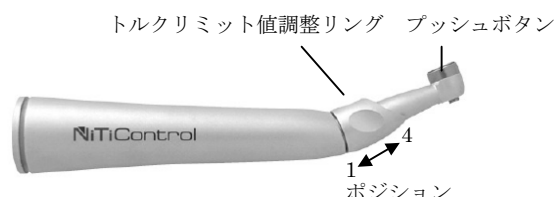
NiTi コントロール コントラアングルハンドピース

【禁忌・禁止】**

回転中にトルクリミット値調整リングやプッシュボタンの操作をしないこと。

【形状・構造及び原理等】

1. 外観 **
- 2.



【使用目的・効能又は効果】

歯や修復物の切削、研磨の目的で使用する。

【品目仕様等】

- ①接続できるマイクロモーター

E タイプジョイントのマイクロモーター、エアーモーター

1/64 減速 : 2,000~20,000r.p.m.の範囲で使用

1/128 減速 : 4,000~40,000r.p.m.の範囲で使用

- ②回転数

回転数が 2,000~20,000r.p.m. のマイクロモーターに取り付けた場合の回転数は下記の通り。

型番	回転数 (r.p.m.)
1/64	31~313
1/128	16~156

- ③トルクリミットシステム

トルクリミットの設定値を4段階に調節できる。

ポジション	トルクリミット設定値
1	0.9 N・cm
2	2.0 N・cm
3	4.0 N・cm
4	6.0 N・cm

【操作方法又は使用方法】

(トルクリミットシステムの調整)

- ・トルクリミット値を小さくするにはハンドピースヘッドのリングを本体側へ引く。(ポジション1の方向)
- ・トルクリミット値を大きくするにはハンドピースヘッドのリングをヘッド側へ押す。(ポジション4の方向)

【使用上の注意】**

- ①本品は、歯科医療有資格者のみ使用すること。
- ②本品は、記載の使用目的のみに使用すること。
- ③規定の回転数のモーターに接続して使用すること。

- ④シャンクの径が 2.35mm (ISO1797-1、JIS T 5504-1 適合) のファイルを使用すること。 **
- ⑤ハンドピース使用前に、正しく作動するか確認すること。
- ⑥ファイル装着の際は、確実に固定されていることを確認すること。確実に固定されていないと、回転中に抜けて口腔内に飛び出し、事故につながる恐れがある。
- ⑦ハンドピースをモーターへ装着するときは、ハンドピースとモーターの軸線を合わせ、まっすぐにカチッと音がするまでモーターに押し込むこと。
- ⑧ファイルを指定を超えた回転数で使用しないこと。
- ⑨ハンドピースを取り外すときは、モーターよりまっすぐに軸方向に引き出して取り外すこと。
- ⑩ハンドピースやファイルの着脱は、モーターが停止した状態で行なうこと。
- ⑪回転音が異常であったり、振動が強すぎる場合は、使用せずに点検修理に出すこと。
- ⑫傷のついたファイル、金属疲労のあるファイル、規格に合わないファイルは使用しないこと。ファイルの破損によりケガをする恐れがある
- ⑬トルクリミットシステムのポジションの設定は、歯科医師の判断により行うこと。
- ⑭ハンドピース内部のオイルがモーターに浸透するとモーターが損傷するので、使用しない時は、ハンドピースをモーターより取り外しておくこと。 **

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

(保管方法)

- ①本品は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。
- ②水のかからない場所に保管すること。
- ③気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分を含んだ空気などにより悪影響が生ずるおそれのない場所に保管すること。

(耐用期間)

正規の保守点検を行った場合に限り 5 年間とする。

(耐用期限は自己認証[当社データ]による。)

【保守・点検に係わる事項】**

使用者が行う日常の手入れ

(洗浄)

外装を水道水またはアルコールを使いブラシで清掃する。

- ・ハンドピースを洗浄液に浸漬させないこと。
- ・洗浄液、消毒液は中性又は弱アルカリ性のものを使用し、アルカリや塩素が含まれている洗浄液、消毒液は使用しないこと
- ・たんばく質を凝固させるアルデヒドを含んでいる洗浄液の使用は推奨しない。
- ・次亜塩素酸ナトリウムは使用しないこと。
- ・使用後、血液や体液等が乾燥しない内に洗浄すること。

(作動)

- ① ハンドピースに注油した後、モーターに取り付けてヘッド部を下向きにし、低速回転で 30 秒間作動させて余分なオイルを取り除く。
- ② 続いて 30 秒間高速回転させる。
- ③ ハンドピース外部に漏れたオイルを布等で拭き取る。

(滅菌)

135℃の設定で 20 分間（滅菌条件の持続時間）高圧蒸気滅菌を行なう。

- ・ 高圧蒸気滅菌を行なう前は必ず注油すること。
- ・ 最初に使用する前と、使用後には必ず滅菌を行うこと。
- ・ 滅菌は滅菌バックに入れて行なうこと。
- ・ 使用する高圧蒸気滅菌器はプレバキューム式のものを推奨する。
- ・ ハンドピースの耐熱温度を超える場合があるので、乾燥工程は行なわないこと。
- ・ 滅菌後、ハンドピース内部に水分が残留していないことを確認する。

業者が行う保守

本品には、業者に定期的に依頼しなければならない保守はない。

【包装】**

1 本

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売元：  株式会社 **ヨシダ**

住 所：〒110-8507

東京都台東区上野 7-6-9

お問い合わせ先

器材営業本部

電 話 番 号：03-3845-2931

F A X 番 号：03-3841-8204

製 造 元： アンソギー社

Anthogyr SA（国名：フランス国）